

南っ子

北方町立南学園 学校だより
「夢に向かって たくましく」
2月号



一年のまとめと、次への一步

今年は例年になく厳しい寒さが続いておりますが、校内では子ども達が元気に学校生活を送っています。日々の学習や行事を通して、この一年のまとめに向け、落ち着いて取り組む姿が見られます。

本校は、1年生から9年生までが共に学ぶ義務教育学校です。学年を超えた関わりの中で、上級生は責任と自覚を、下級生は安心感とあこがれの気持ちを育てています。日常の中で自然に生まれる支え合いの姿に、義務教育学校ならではの良さを感じます。2月は、これまでの学びや生活の振り返り、自分の成長を確かめる大切な時期です。うまくいったことも、思うようにいかなかったことも、次へ進むための貴重な経験です。教職員一同、子ども達一人一人が自信をもって次の学年へ進めるよう支えていきます。

9年生は、いよいよ進路に向けた大切な時期を迎えています。これまで積み重ねてきた努力を信じ、自分の進道をしっかりと見つめながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。学校としても、一人一人の思いに寄り添い、最後まで丁寧に支援をしていきたいと思えます。

北方町の未来について議場提案をしました！1/20(火)

9年生が北方科のまとめとして、自分たちが育った北方町の将来を描き、「こんな北方町にしたい!」という企画を北方町役場の議場で、町長さんをはじめ、各課の課長さんに代表グループがプレゼンテーションをしました。“北学園と南学園の交流を増やす”“商店街の活性化”“公園の利便性の向上”“中学生のための自習スペース確保”について、中学生の目線で提案をしました。

ふるさと北方を、よりよい町にしていこうとする気持ちを伝えることができました。今回の提案が、少しでも町の施策に反映されることを期待したいです。



おひさま学習会 1/9(金)

おひさま(縦割り)学級の中で学習会を実施しました。これまで、おひさまの日は、縦割り遊びを行ってきましたが、今回、初めて学習会を行いました。「ここはどうやったらできるのだろう」なるほど、こうやって考えるんだ」といった声が、たくさん聞かれました。

学習の定着を図るだけでなく、子ども同士のつながりをより深めていきたいと思えます。



二分の一成人式 1/23(金)

4年生が二分の一成人式を行いました。前半は多目的室で助産師さんから、「いのち」の話を聞き、後半は各学級で自分の名前の由来や赤ちゃんの頃の写真を見せながら、各グループの仲間に発表しました。

自分の命の大切さを実感する貴重な機会となりました。たくさんの保護者の方にも参観していただき、心温まる時間となりました。



授業参観日・8年生立志式 2/20(金)

今年度最後の授業参観を予定しております。子ども達が一年間の学びの成果を発揮し、成長した姿を見ていただける貴重な機会です。ご多用のことと存じますが、ぜひ学校に足を運んでいただき、日頃の様子をご観覧いただきたいと思います。

南学園 HP をご覧ください！

南学園のHPでは、行事や日頃の活動、保護者向けのお知らせ等を掲載しています。お時間のある時に、ぜひご覧ください。

新着情報	
2026年1月27日	NEW! 4年生 二分の一成人式を掲載しました。
2026年1月27日	NEW! 7年生 北方科 防災について学習しました。
2026年1月26日	NEW! 6年生 国際教育出前授業を行いました。
2026年1月20日	NEW! 9年生 北方科「北方町の未来について議場提案しよう!」を掲載しました。
2026年1月15日	9年生 租税教室を行いました。
2026年1月14日	おひさま学習会を掲載しました。
2026年1月13日	おもしろす子博物館! 巨大なもの、珍しいものがいっぱいを掲載しました。
2026年1月9日	家庭教育「みんなで子育て」1月号を掲載しました。
2026年1月7日	音楽会 一心齊音〜届け、歌声 風めろ、仲間と共に〜を掲載しました。
2025年12月26日	学校だより1月号を掲載しました。

今月の行事予定



夢に向かってたくましく『自ら学ぶ 自らつながる 自ら切り拓く』

日	曜日	2月の主な行事	3月の主な行事
1	日		
2	月	放課後子ども教室	2日(月) 放課後子ども教室
3	火	期末テスト(7・8年)	4日(水) 公立高校入試(9年)
4	水	期末テスト(7・8年)	5日(木) 4時間授業(1~3年) 下校13:40
5	木		6日(金) 卒業証書授与式(9年) 1~3年は休校
6	金	進路出前授業(8年)	9日(月) 決意集会(6~8年)
7	土		10日(火) いじめを考える日
8	日		11日(水) 前期児童生徒会選挙
9	月		13日(金) 公立高校合格発表
10	火		16日(月) 放課後子ども教室
11	水	建国記念の日 MSサミット	19日(木) 公立高校入試(第2次選抜)
12	木		20日(金) 春分の日
13	金	午後特別日課(2年以上14:40下校)	23日(月) 子どもサミットの日
14	土		1部2部卒部式(4・7年)
15	日	ふれあい合唱集会(6年)	24日(火) 修了式 離任式 前期課程修了式(6年)
16	月	放課後子ども教室	
17	火	いじめアンケート	
18	水	国際理解教育出前授業(6年)	
19	木	大掃除・ワックスがけ	
20	金	授業参観 立志式(8年)	
21	土		
22	日		
23	月	天皇誕生日	
24	火		
25	水		
26	木	学校運営協議会 9年生ありがとうの会	
27	金	子どもサミットの日 薬物乱用防止教室(6・8年)	
28	土		



季節の言葉を楽しもう ― 春を待つ気持ちとともに ―

節分は、季節の変わり目に行われる日本の伝統行事で立春の前日にあたる2月3日ごろに行われます。昔の人は、季節の変わり目には病気やよくないことが起こりやすいと考え、それを「鬼」に例えて豆まきすることで、悪いものを追い出し、福を呼び込もうとしてきました。「鬼は外、福は内」というかけ声には、みんなが元気で安全に過ごせるようにという願いが込められています。また、年の数より一つ多く豆を食べる習慣も、1年間の健康を願う意味があります。行事の意味を知り、日本の文化を大切にしながら、新しい季節を気持ちよく迎えましょう。



二月はとても寒い時期ですが、日本語にはこの季節ならではのあたたかみのある言葉がたくさんあります。「余寒(よかん)」は、春が近づいてきてはまだ残っている寒さのこと、「春寒(しゅんかん)」は、春の気配を感じながらも、ひんやりとする日の寒さを表す言葉です。また「梅一輪」という言葉には、寒さの中で咲く一輪の梅の花に、春の始まりを感じてうれしくなる気持ちが込められています。「春待つ(はるまつ)」という言葉も、長い冬を越えて、春が来るのを楽しみに待つ様子をやさしく表しています。

二月には「立春」「雨水」「東風(こち)」「薄氷(うすらい)」など、少しずつ季節が変わっていくことを知らせてくれる言葉があります。三月になると「早春」「春分」「若草」「菜の花」「春霞」など、明るくあたたかな春を感じさせる言葉が増えていきます。こうした季節の言葉は、国語の学習だけでなく、毎日の生活の中でも楽しむことができます。空を見上げたり、道ばたの草花を見つけたりしながら、「春が近づいてきたね」と声をかけ合うだけでも、季節を感じる心は育っていきます。ぜひご家庭でも、季節の言葉を話題にしながら、親子の会話を楽しんでみてください。